

背景・取組概要

佐伯小学校では、重点目標をもとに研究主題を設定し、その達成に向けて全教職員の主体的な取組を推進するため、校内研修のもち方を工夫するとともに、実践事例等を積極的に自校ウェブサイト等で発信している。

工夫・ポイント

- ◆ 仮説検証型の研究から**課題解決型の研究**へシフトし、「学んだ言葉の力を活用して自らの思いを伝え合うことのできる児童の育成」に向け、自由度の高い実践提案を積み重ねている。
- ◆ **研修記録、授業記録等を板書**するとともに、研修終末には記録者が「今日のまとめ」と「次の見通し」をOUTPUT、次の実践へと連続させている。

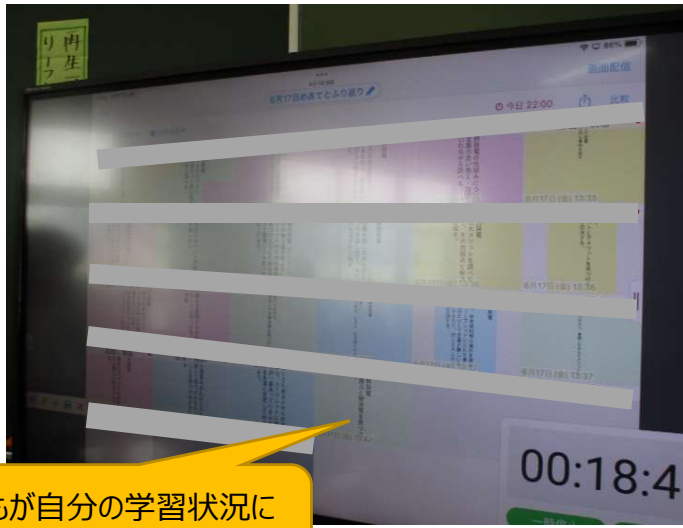
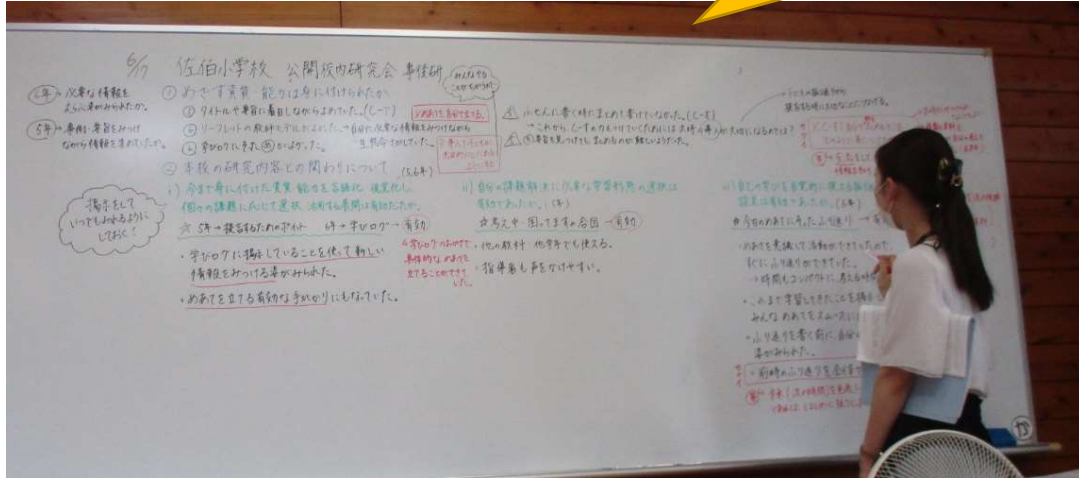
特徴的な活動

- ◆ **研修記録、授業記録等は若手教員が中心**となって行う。
- ◆ **グループワーク**を積極的に取り入れ、**若手と中堅・ベテランが学び合う仕組み**を作る。
- ◆ 実践を重ね、**効果がありそうな手立て**を各教室で実践し、**その実践報告を行う**時間を位置付けている。

関係者の声

- ◆ 課題解決型の研修により、目指す子どもの姿を実現するための手立てや実践の工夫の自由度が高く、多様な実践から学び合うことができている。
- ◆ 記録を板書に残すことにより、実践の工夫や成果が可視化・焦点化され、次の実践に生かすことができている。
- ◆ **グループワーク**により、全ての教員に発言の機会があり、中堅・ベテランのよさを引き出すことができている。若手はそれに学ぶことができている。

授業研究会の板書記録



子どもが自分の学習状況に応じたためてを設定



指導の個別化

協働

学習の個性化

【意図的な指導】

- ◆ 資質・能力を活用している児童の振り返りを導入で紹介



【個に応じた指導】

- ◆ 自分のめあてに向けて読み進める中で、児童の困りに応じた指導・支援を行う



- ◆ 図書館司書補も授業に参加し、児童が目的や意図をもって読み進める際の支援を行う



【交流による考えの広がり・深まり】

- ◆ 互いに資料を交換したりアドバイスし合ったりしながら、説得力のあるリーフレットに必要な情報を収集したり、リーフレットに掲載する内容を選択したりしている。



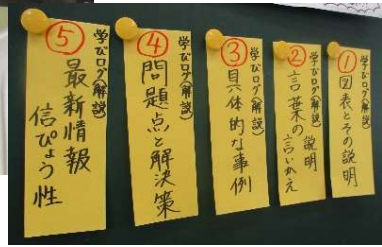
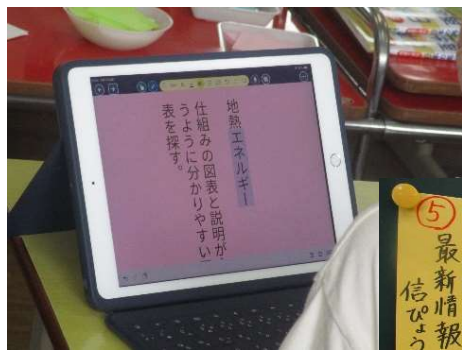
この本、分かりやすかったよ



一人一人のめあてに即した学習活動を展開

【一人ひとりが読みのめあてを具体的にもつ】

- ◆ 「再生可能エネルギーについて、説得力のあるリーフレットをつくる」ために、前時の学習状況を踏まえ、自分のめあてを設定



自分のリーフレットに載せる内容を吟味

